

発達障がい者・高齢者をアシストする

知能システム・テクノロジー

場所：福井大学文京キャンパス 総合研究棟 I 7階知能基礎演習室 他

日時：令和4年7月30日（土） 13:00～16:50（集合 13:00）

7月31日（日） 9:00～15:30（集合 9:00）

申込締切：令和4年7月15日（金）まで、裏面をご覧ください。

対象：高校生（先着 18名） 参加費無料

持ち物：筆記用具（必須）、スマートフォン（任意）

実施内容

最近、ゲームやテレビなど、色々なものが 3D になっています。でも、どうして、平面の画面をみて、立体に見えるか考えたことはありますか？また、あるテレビでは立体に見えるのに、別のテレビでは立体に見えないのは不思議だと思いませんか？

このプログラムでは、3D 映像を認知する人間の知能をとっかかりにして、超高齢社会において高齢者を支援することが期待される立体映像技術について体験します。さらに、発達障がい者をアシストする知能システムについても紹介します。

スケジュール

※参加者数・実験の都合により、一部スケジュールを変更する場合があります。

1日目:

13:00-13:20 受付（集合場所：文京キャンパス総合研究棟 I 1階）

13:20-13:30 開講式（あいさつ・オリエンテーション・班分け／講師・協力者紹介）

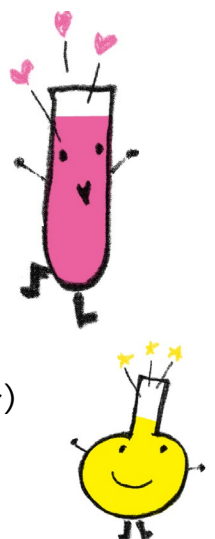
13:30-13:40 科研費と本事業の説明

13:40-14:10 講義 1：最新の3D/VR 映像構成法

14:20-15:00 演習 1：最新の3D/VR 映像構成法とその認知メカニズム

15:20-16:00 講義 2：特許の出願から活用まで

16:10-16:50 問題提起（発達障がい者をアシストするゲームシステムについて紹介）、
グループディスカッション 1（発表の構想）・解散



2日目:

9:00- 9:10 ガイダンス

9:10- 9:50 実習1 (パラレルセッション)

10:10-10:50 実習2 (パラレルセッション)

11:00-11:40 グループディスカッション2(発表内容の検討)

実社会で有用な「特許に結びつくアイデア」を班で考案する

11:40-12:40 昼食・休憩

12:50-13:30 グループディスカッション3(発表資料の作成)

13:40-14:00 グループ毎のショートプレゼンテーション

14:00-14:30 グループ毎のポスター説明・質疑応答・ディスカッション

14:50-15:30 講評・修了式(未来博士号授与、記念撮影)、アンケート記入、終了・解散

(9:50-10:10、14:30-14:50 は適宜休憩またはクッキータイム)

注意事項

- ・実験をするので、動きやすい靴と服装でお越しください。
- ・2日目の昼食については、お弁当と飲み物を用意いたします。
食べ物アレルギーがある場合は、申込フォームの「実施機関に伝えたいこと」欄に記載をお願いいたします。
- ・**新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、延期または中止する場合があります。**

参加を希望される皆様へのお願い

- ・県外にお住まいの方は、当該都道府県の移動に関する方針等に十分留意し、ご対応をお願いいたします。
- ・必ずマスクを着用してください。
- ・来場時・再入場時は、場内に設置してある手指用消毒液のご利用をお願いいたします。
- ・感染防止のために主催者が決めた措置や指示を遵守してください。

※次の方は参加をお控えください※

- ・平熱を超える発熱がある。(おおむね 37.5 度以上)
- ・咳、のどの痛みなど風邪の症状がある。だるさ、息苦しさがある。
- ・嗅覚や味覚の異常がある。
- ・新型コロナウイルス感染の疑いまたは濃厚接触者に該当する。
(同居家族や身近な知人に感染が疑われている方がいる場合も含む)

参加申込方法

日本学術振興会のホームページからお申込みください。

<https://www.jsps.go.jp/hirameki/>

申込締切日： 令和4年7月15日(金)

【実施内容の問合せ】 高田 宗樹(工学系部門 知能システム工学分野)

E-mail : takada@u-fukui.ac.jp

【その他の問合せ】 福井大学 地域連携推進課 地域連携担当

E-mail : rcp@ad.u-fukui.ac.jp



(申込サイト)